

目次

巻頭言	学会の新たな出発にあたって……………	有江 大介	2
-----	--------------------	-------	---

論文

石橋湛山とキリスト教			
—道徳的使命感との関係を中心に—……………	望月 詩史	3	
ジョン・ミルトンの『アレオパジティカ』における宗教的寛容論……………	豊川 慎	13	

研究ノート

児童文学の視点から見たフルダ・ニーバーの『聖書物語』……………	鈴木 幸	25	
---------------------------------	------	----	--

シンポジウムⅠ 19世紀におけるイギリス革命の継承と諸相

趣旨説明……………	寺中 平治	34	
報告1 カーライルの英雄観とマコーリの歴史観……………	泉谷周三郎	36	
報告2 社会改革者としてのT.H.グリーンとその宗教思想……………	行安 茂	43	

シンポジウムⅡ 明治日本とピューリタン革命

趣旨説明……………	梅津 順一	50	
報告1 明治期の知識人とピューリタン革命……………	西田 毅	51	
報告2 民友社グループとピューリタン革命……………	和田 守	60	
報告3 内村鑑三にとってのクロムウェル			
—ひとつの思想史—……………	柳父 圀近	68	

書評

松谷好明『ウェストミンスター礼拝指針			
—そのテキストとコンテキスト』……………	豊川 慎	75	
ジョン・ミルトン（佐野弘子訳）『劇詩 闘士サムソン』……………	川崎 和基	77	
Michael P. Winship <i>Godly Republicanism: Puritans, Pilgrims, and a City on a Hill</i>			
……………	鵜澤 文子	79	
デイヴィッド・D・ホール（大西直樹訳）『改革をめざすピューリタンたち			
—ニューイングランドにおけるピューリタニズムと公的生活の変貌』			
……………	岩井 淳	81	
フィリップ・スコフィールド（川名雄一郎・小畑俊太郎訳）			
『ベンサム：功利主義入門』……………	有江 大介	83	
有江大介編著『ヴィクトリア時代の思潮とJ.S.ミル			
—文芸・宗教・倫理・経済—』……………	小畑俊太郎	85	
大木英夫『人格と人権—キリスト教弁証学としての人間学』……………	須田 拓	87	

設立宣言	89
学会規約	90
学会理事・役員一覧	91
投稿規定	92